

「加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会」における意見等について

1 開催内容

- ・開催日時：令和5年11月21日（火）午後2時～4時
- ・会場：加須市議会 議場及び各委員会室
- ・参加者：平成国際大学学生 36人、教授 4人、職員 1人
市議会議員 25人
議会事務局職員 6人
合計 72人
- ・テーマ：第1分科会「選挙における投票率の上昇を図る方策について」
第2分科会「子どもからお年寄りまで安全で住みやすい町づくりの実現について（社会福祉）」
第3分科会「若者（10～30代）の人口増加を図る政策について（加須市の一層の活性化を図る）」

2 分科会における学生からの意見等内容及び議員による発言内容

(1) 第1分科会「選挙における投票率の上昇を図る方策について」

	学生からの意見等	意見等に対する回答（議員）
1	<p>スーパーマーケットなど、市民の方がよく行くような場所に投票所を設置してはどうか。</p> <p>他自治体の取組としては、大型商業施設、大学の構内や高校に投票所を設けています。やはり例えばスーパーマーケットなどに投票所があったら行ったときにそのまま投票できるので、投票率が上がるのではないかなと思います。</p>	<p>・これまで議会でスーパーマーケットや駅等での期日前投票や投票について質問した経緯があります。人件費など様々な経費の部分で難しい課題もあるが、検討していくということなので、早い時期にこれが実現できるように、議員として取り組んでいきたいと思っております。</p>
2	<p>投票するとギフト券、クーポン、ポイントの付与などがあれば選挙に行く人が増えるのではないかと思います。</p>	<p>・加須市では、お子さんが好きなマスコットに投票できる子供の選挙を選挙と同時に実施したことがあります。この取組を再度行っていただきたいと考えています。また、ギフト券等につきましては、特典があるというのは投票率を上げる1つの方法になるのかなとは思っていますので、参考にさせていただきたいと思っております。</p>
3	<p>選挙の環境というよりも選挙への関心が大切だと思います。具体的には、選挙の重要性や最近の社会情勢などを教育機関等で重点的に指導していく。そうすることによって、投票率は上がるのではないかなと思います。</p>	<p>・選挙は、投票することで自分の願いや思いを実現していくのもだと思います。そのためには若い人たちが今どういう関心を持っているのか、政治に何を期待しているのか、そういうことを今日はたくさん伺いたいと思います。</p>

<p>4</p>	<p>投票を義務化するという提案をしたいと思います。 選挙権は18歳からなので対象年齢を絞って、その人たちの意見をしっかり聞くというのも1つの方法かと思っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育のときに、しっかり選挙について教えることが1番大切と考えております。 ・自分が若い時、選挙に行ったきっかけは、例えば消防団に参加したり、PTAの活動に参加したり、そういうときにいろいろな要望をする必要がでてきます。それが結局は選挙に繋がってくるのかなという気がします。そういった意味で、このような要望活動、自分たちの思い・願いのために、お金を使っていたきたいと、そういう要望から入っていくと必然的に選挙に行くのかなと思います。また、自分達も政治を使って地域をよくしたいという考えがあったので、そのような活動に繋がってきたのかなと思います。 ・加須市としての取組として、前回は中学生を対象とした青少年未来議会を開催しました。実際の議場で中学生が議員になって、執行部の担当部長や市長が答弁をするということを行いました。この中で、実現した提言もあります。このような経験をしてよかったという声を聞きますので、体験することも非常に重要であると思いました。
----------	--	---

5	<p>マイナンバーカードを活用してインターネットで投票できる環境を整えてもいいのかなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット投票については、すごくいいことだと思いますが、国の方で法整備が必要となります。 ・マイナンバーカードは個人情報の管理が甘い部分があるため、安心して利用できる環境を整えば、将来的には国が進めていくと考えられるため、今後の国の動向に期待したいと思います。 ・マイナンバーカードについては、現在、なりすましを利用した犯罪が起こっており、本人確認に課題があり、注意が必要であると考えます。
6	<p>選挙に限ってではなく、地元の魅力を若者の目線でSNSを活用して発信することが大切だと考えます。そうすることで、地元が好きになり、選挙に行くことが考えられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア活動は1つの政治活動であるため、皆さん方にも積極的に参加していただきたいと思います。そこから地域の課題を発見することができ、市への要望に繋がっていきます。 ・地元の魅力を発信することによって、加須市だったら加須市に対する愛着が出てきて、もっとこのまちを良くしたい、もっと住み良くしたい、もっと自分たちのやりたいことができるようになって欲しいという願い、希望や思いが生まれ、それらを公約に上げている方は誰か、そういう人を選ぼうかということで、投票に繋がっていくと思います。従って先ほど地元の魅力をどんどん発信していくというのは、本当に大事なことだと思います。

7	<p>何回も選挙に行く手間も省けるので市長、市議会議員、県知事、県議会議員、国会議員の選挙を同日に実施したらいいのではないかと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙経費だけを考えるとそのとおりですが、市長、市議会議員、県知事、県議会議員、国会議員それぞれ役割が違うため、有権者の皆さんにわかりやすいように選挙を実施することが大切だと考えます。
8	<p>仮に投票率が 100%であっても若者の有権者数が少ないため、若者の意見が反映されにくいと思います。そのため、例えば 20 代は、投票を 1 票ではなく、2 票にすれば若者の意見が反映されやすくなって、選挙に行こうと思う人が多くなると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばフィリピンでは 2 回連続して選挙に行かなければ選挙権が剥奪されます。政治に影響が与えられません。これをもし日本でやってしまったら、政治に参加する方はかなり減り、政治の意味がなくなってしまいます。今後、学生の皆さんもいろいろな視点で行動していただきたいと思います。 ・議員の中にも若い方たちがたくさんおられますので、若い方たちの意見が反映されやすい、また、魅力ある政策に取り組んでいくということが非常に重要であると思っています。また、加須市では、若手職員の提案による事業を実施しており、例えば田んぼ運動会などを開催するなど、加須市の魅力について情報発信をしております。もっともっと若手職員の知恵もお借りしながら、本当に住みやすいまちを、これからも作っていきたいと思っています。

9	<p>選挙運動をする際に選挙カーを使っていると思うのですが、中学校、大学や専門学校などで演説を行ってはどうかと考えました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実はやりたいです。しかし、できません。公職選挙法というルールがあり、選挙期間中はそういうところに行って選挙運動したら違反になります。ぜひ、将来できるようにしたいです。 ・我々議員から若者の意見を掴みにいく機会を設定し、行動に移していきたいと思います。
10	<p>先ほど若者の投票率が低いということが話題になり、もっと住みやすいまちにしていかなければという意見がありました。議員の皆さんが考える住みやすいまちとは一体どういうまちなのか教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加須市について申し上げますと、災害が少ないことです。また、子育て支援が非常に充実しています。この辺のエリアでは先駆けて高校3年生まで医療費が無料になっております。すくすく子育て相談室という部署を設置して、「加須版ネウボラ」というワンストップで妊娠出産から高校卒業するまでをずっと同じ担当課で子育て支援の事業を展開しております。また、高齢者にとっても、例えば運転免許を返納して移動手段がない場合、デマンドタクシーや循環バスもあります。子どもからお年寄りまで誰もが加須市に住んでみたい、住んでよかったと言ってもらえるように、私たち議員一人ひとりがしっかりと取り組んでいきたいと思います。

11	<p>自分が住んでいる伊奈町では、ボランティア活動が半年に1回あり、参加すると日用雑貨などがもらえます。また、そこに町の職員や議員の方が来て、お話を聞く機会がたまにあります。加須市でも議員の皆さんと触れ合う場をもっと広げていければ魅力発信にも繋がり、若者が関心を持つのではないかと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員は1番の地域密着の議員であります。様々な地元のイベントには必ず参加しております。引き続き、地域での活動を大切にしていきたいと思います。
12	<p>選挙に立候補して議員になるまで、これは大変だったなということがあればお聞かせ願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の訴えたいこと紙を見ながらではなく、全部覚えて本当に気持ちを込めて訴えていく選挙運動に全力を注ぎました。また、当選して議員になってからも法律や条例など制約があります。このような中で、1つ1つ課題をクリアしながら諦めずに取り組んでいくという大変さは感じています。 ・家族を説得することが一番の大変なことでした。また、政党から出馬という形を選択したため、夫とともに選挙活動を行い、今思い返すと1番大変だったかなと思います。

13	<p>加須市は子育て支援がとても充実しているという話がありました。実際にホームページを見ても、本当に子育て支援が充実していることがわかるのですが、幼稚園、保育所や小中学生への手当などは充実しているのですが、1番お金がかかる専門学校生や大学生への支援も重要であると考えます。専門学生や大学生への政策について何か具体的な意見があれば教えていただきたいです。アパートの家賃への補助等があると非常に助かります。</p>	<p>・奨学金の返還に対する支援を実施していただきたいと、前回の議会で提案させていただきました。学生さんが奨学金を借りて卒業して社会人になってから返還するというので、それが大変で結婚を諦めたなどの意見を市民の方からも頂いております。国の方でも進めておりますが、私としては大学生への支援に関し、企業と連携して加須市の企業に就職するのであれば人材育成という観点からも奨学金の返還に対する支援を行ってはどうかと考えております。大学に行きたいけれどお金がないから諦めたという方も実際おりますので、学びたい方は全員が学べるような環境整備は大変重要だと思っております。</p>
----	---	--

(2) 第2分科会「子どもからお年寄りまで安全で住みやすい町づくりの実現について（社会福祉）」

	学生からの意見等	意見等に対する回答（議員）
1	<p>安全で住みやすいまちづくりの実現には情報の伝達が大切だと考えます。1番利用率が高いのは天気予報アプリというデータを見たので、災害時に天気予報アプリと連携し、市の災害情報や避難所についての情報伝達を行っていただきたいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達は非常に大切で、加須市ではさまざまな方法により情報の伝達を行っております。天気予報アプリが1番多くの方に使われているということで、1つの案として非常に試す価値があると思います。
2	<p>高齢者が多い加須市では交通手段としてバスがとても重要だと思いますが、あまりバスを見かけません。加須市のバスの現状、また、平成国際大学から市役所までの無料バスが廃止となった理由を教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合併の際、市内循環バスの路線の見直しを行い、利用率の低いところは廃線となりました。今後、運転免許を返納した高齢者が増えていきますので、バスの運行に係る見直しは非常に重要な意見だと思います。 ・現行のデマンドタクシーの利用率を上げることで、より、改善点や問題点が見えてくると思いますので、さらに周知していくことも大事だと思っています。 ・高齢者から、「バス停でバスを待っている間に座って待つ場所がほしい」という意見や乗り継ぎが悪いという意見もあります。このようなところを改善していくと、もう少しバスの利用率が上がるのではないかと感じています。 ・加須市のコミュニティバスは3種類ありますが、より利用しやすくしてほしいという意見を市民からたくさんいただいていますので、今後も改善に向けて取り組んでいきます。

3	<p>安全なまちづくりのために、あいさつ強化週間などでまち全体を明るくしていく活動ができたらいいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ、さわやか、加須のまち」をモットーに、みんなが元気で挨拶ができるような明るいまちづくりを今後目指していきたいと思います。 ・本市では5月上旬と10月下旬にあいさつ運動をしていますので、さらに広がっていけばいいと思います。
4	<p>子どもからお年寄りまで安全で住みやすいまちづくりの実現には、健康であることが第1だと思います。本市でもスポーツをする習慣を取り入れる、子どもからお年寄りまで一緒にスポーツができるような環境を整備していただきたいと思います。市内の公園に大人が筋トレできるような鉄棒がないので、大人用の公園を設置していただきたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では危険な遊具だからと撤去される傾向がありますが、公園のあり方について考えていく必要があると思います。 ・子どもからお年寄りまで一緒にスポーツする習慣という意見については、スポーツ協会を中心に、年間を通して様々なイベントを開催していますが、若い方の参加率が低いのでどんどん参加してもらえるとありがたいです。まずは企画段階の話し合いの場に、皆さんのような若者の意見を届けられる機会があるといいと思います。
5	<p>近場にキャンプができる場所がないので、市が運営するキャンプ場を作ってほしいです。場所については、北川辺の渡良瀬遊水地あたりがいいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬遊水地はグランピングの新設に最高の場所だと思います。初級者にとっても非常に安全な場所なので、加須のグランピングを今後市議会でも一生懸命推し進めていこうと思います。
6	<p>安全で住みやすいまちづくりには無事故が1番いいと思っています。街路灯が少なく、危険だと感じる道も多いため、街路灯を増やしてほしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は稲作が盛んで、街路灯1本あることで米の取れ高が変わってしまうため、今まで街路灯が少なかったというのが事実です。今後、街路灯を1本でも多く、安心安全に暮らせるよう市議会としても取り組んでまいります。

7	道路、街路灯の整備をお願いしたいと思います。	・市民からの要望の大半は道路整備や街路灯に関するもので、行政に伝えています。今後も議員として、市民の声を一生懸命訴えていきたいと思います。
8	スケートパークの利用時間は、現在9時から17時ですが、ナイターができるようにしていただきたいです。	・意見として受け止め、行政に要望していきたいと思います。
9	駅にレンタサイクルを設置してほしいです。	・現在、加須駅近くの加須商工会館にレンタサイクルがあります。また、花崎駅近くにもレンタサイクルを設置してもらえるよう交渉しています。
10	花崎駅南口の駐輪場を増設してほしいです。	・ぜひ民間の駐輪場も活用していただきたいと思います。
11	小学生の通学路について、危険な箇所へのガードレールの設置が進んでいますが、まだ危険なところを通学していると感じています。	・小学校の通学路はPTAと学校等で決めています。指摘のあった箇所については、学校に確認します。
12	道路に雑草が多く危険であるため、対応をお願いします。	・通学路の雑草に関しては、再度行政に対し強く要望します。また、歩行者帯のないトンネルも非常に危険であるため、歩行者用のトンネルも今後検討していきたいと思います。

(3) 第3分科会「若者（10～30代）の人口増加を図る政策について（加須市の一層の活性化を図る）」

	学生からの意見等	意見等に対する回答（議員）
1	<p>埼玉県は、縦の移動は多いが横の移動が少ないと聞いたことがあります。人口増加を図るためには、道路も含めた公共交通網を整備していく必要があると考えます。</p>	<p>・加須市周辺においても、東西の道路は大きな国道が複数あり比較的充実しているが、南北の道路については課題を感じています。特に利根川を渡るための橋が不足していると考えており、莫大な予算や関係各所との調整等が必要となるため、地域住民の利便性の向上のため、引き続き取り組んでいきたいと考えております。</p>
3	<p>市議会議員は1番身近な政治家だが、実際は若者たちにはあまり知られていないように感じています。本日のような若者との意見交換会や議場等の見学をする機会が増えていくことで、若者の政治に対する関心も深まっていくのではと考えます。</p>	<p>・加須市議会では、中学生を対象とした青少年未来議会というものを実施しています。今後は、今回のような意見交換会も含めて若者と市議会とが関われる機会をさらに増やしていければと考えております。</p>
4	<p>加須市では、「女子野球」や「スポーツクライミング」の普及に力を注いでいると伺っています。若者はスポーツに興味がある人が多いと思うので、この2つのスポーツに限らず、色々なスポーツを取り入れていくことで、さらに若者からの関心が集まると考えます。</p>	<p>・「女子野球の聖地」や「クライミングの聖地」とうたっているが、現状としては爆発的な盛り上がりになっておらず苦戦していると感じます。今後は、若者の視点も踏まえ、また、スポーツに力を入れている平成国際大学や花咲徳栄高等学校との連携も含めて、さらに検討してまいりたいと考えております。</p>

5	<p>スポーツで街を盛り上げるにあたり、スポーツに適した公園や体育館などの施設整備を進めていく必要があると考えます。</p>	<p>・現状では、合併前に旧市町で使用されていた施設を現在も使用しているところが多く「施設過多」の状況にあります。また、多くの施設が老朽化してきていることから、その施設機能を精査し、新規施設も含めて施設機能の集約をさらに検討していく必要があると考えております。</p>
6	<p>若者を増やすためには、若者がその街に定住したいと思えるような魅力が必要だと考えます。</p>	<p>・若者にとって魅力ある街、定住したくなる街とするためには、この地域に「若者にとって魅力がある働く場所」が必要であり、例えば、IT企業など若者が関心を持つような企業の誘致を積極的に進めていくことが重要であると考えております。</p>
7	<p>若者の人口を増加させるためには、「子育て支援」などの若者の世代にマッチした支援策が必要だと考えます。</p>	<p>・加須市では「産み・育てる」ことについて、一貫した支援を実施しております。しかしながら、その支援についての情報発信が、若者世代にきちんと届いていないのではという課題があると感じています。</p>
8	<p>若者が魅力を感じられるまちづくりの1つとして、若者の関心がある商業施設等、例えば「スターバックス」等を誘致すること必要だと考えます。</p>	<p>・スターバックスもそうですが、若者の関心がある施設、若者が集まれる施設が市内にあることはとても大切なことだと考えております。今後そのような施設を誘致できるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p>

9	<p>加須市では、18歳まで医療費が無料であると先程伺いましたが、例えば若者への支援策の1つとして、上限を20歳まで引き上げることも考えられるが、この際のデメリットについて教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代は健康な方が多いので、上限を20歳に引き上げても「医療費」に係る予算は大きな増加にならないのではと考えます。しかしながら、世代間の「公平性」という観点から、実施に当たっては良く精査する必要があると感じております。
10	<p>若者世代の増加には、やはり「子育て支援」が必要だと考えており、その1つとして、若い世代は共働きが多いので、保護者が働いている際の「子どもの居場所」を確保していくことが重要であると考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加須市では、すべての小学校区に公設の学童保育を設置しており、また、子ども食堂への支援等も積極的に行っています。 ・学童保育を利用する場合は、保護者の就労等の条件があるため、学童を利用しない子どもの居場所づくりについても、さらに検討をしていくことが重要と考えています。
11	<p>若者向けの政策を実施しても、その情報が若者に届いていないと意味がないため、SNSを含めたインターネットを活用して、市の政策などを若者に届きやすくしてほしいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、LINE、FacebookやX（旧ツイッター）などのSNSを活用して情報発信をしています。また、市議会議員もSNSを活用して情報発信をしている方は多いが、実際のその情報発信が若者に届いているか、どうやったら若者に届くのかなど、今後さらに工夫が必要だと感じています。

12	<p>未婚率の上昇が人口減少の大きな要因の1つだと考えられるので、若者の婚活への支援等が必要だと考えます。</p>	<p>・加須市では「であいサポート i」という結婚相談所があり、結婚を希望する方へ「出会い」の支援を行っています。しかしながら、未婚率の上昇については、「出会いが少ない」だけではなく、「収入」や「生活様式の変化」なども大きく影響していると考えられるので、その点も含めて更に支援策を検討していきたいと考えております。</p>
13	<p>加須市はアパートが多いと感じたので、一人暮らしの若者への住居支援などを積極的に行うことで、若者世代の増加が図れるのではないかと考えます。</p>	<p>・アパートの家賃を支援していくことは課題が多いと考えるが、例えば、加須市内にも多くある「空き家」を活用することで、一人暮らしの若者を支援することはできると感じております。空き家は一軒家が多いので、シェアハウスとして活用していければ、若者支援、若者の定住に繋がっていくと考えております。</p>

3 全体会における学生からの意見等内容

	学生からの意見等
1	<p>第1分科会では、選挙における投票率の上昇を図る方策ということで、インターネット投票についての意見が学生からありました。しかし、個人情報の管理や本人確認の方法などにおいて課題が多いため、難しいのではないかと回答がありました。そういった部分でしっかり個人情報の管理などについて今後、国において検討し、インターネット投票が実現できたらいいなと思います。</p> <p>また、高校や大学等で選挙の演説を行ってはどうかという意見がありました。しかし、病院や学校等では、選挙の演説をすることができないということを議員の皆さんから教えていただきました。自分が考えた意見を直接議員の皆さんに伝えることができ、すごく良い経験ができました。このような機会をしっかりと大事にして、今後に生かしていきたいと思います。自分も若者代表として、選挙に行くということを仲間に声かけをして、今後、若者の投票率を上げていけるようにしたいと思います。</p>
2	<p>第1分科会に参加させていただきました。</p> <p>学生側からは、かなり斬新な意見がありました。例えば、若者の投票数を1人2票にしたらどうか、教育機関の前で演説してはどうかなど、しかし、法律で病院の前や葬儀社の前では駄目であると、学生が知らない事の回答をいただきました。</p> <p>また、初めて議員になるにあたって、何が1番大変だったのかという質問をさせていただいたのですけれども、議員さんによってそれぞれで、例えば演説を練習するのが大変だった、議員になるきっかけが大変だった、家族を説得するのが大変だったなど、いろいろな意見をいただきました。このような大変貴重な機会に参加できたことは、自分の大学生活にとって非常に貴重な経験になりました。</p>

3	<p>まず、このような場を設けていただき、本当にありがとうございます。</p> <p>第2分科会では、子どもからお年寄りまで安全で住みやすい町づくりの実現について、お話をさせていただいたのですが、その中で、加須市内におけるバスの増便やあいさつ運動でまち全体を明るくする活動をしたらいいのではないかと、健康面を考えて地域で運動を行ったり、街灯が少なく事故の可能性が高い場所には道路整備が必要であったり、小学生の通学路でガードレールがない道路が多々あるのでガードレールを設置すべきという意見、道路の両サイドに雑草が繁茂して危ない箇所が何ヶ所かあるので道路管理をお願いしたいという話が出ました。この分科会でも出された意見、それぞれ解決できるように動いていただければということなので、これからの加須市の発展をすごく楽しみにしています。</p>
4	<p>第2分科会の話題で、スケートボードパークとキャンプ場について意見が交わされました。</p> <p>スケートボードの方については、街灯がないため、例えば、夜アルバイトが終わった後などに利用できないという意見が出ました。確かにこれ実際にやってみないと絶対にわからないことなので、すごく貴重な意見だと僕は思いました。</p> <p>また、キャンプ場について、キャンプ場を設営するには広い土地が必要であり、いろいろな課題があると思うのですが、山本議員さんが推しているとのことですので、遊水地に新しくキャンプ場ができることを期待しております。今回は本当にこのような貴重な機会をいただきまして、本当ありがとうございます。</p>
5	<p>第3分科会では、若者の人口増加を図る政策について意見交換をしました。</p> <p>内容につきましては、まちの魅力についてと子育て支援が議題として上がりました。</p> <p>まず、まちの魅力についてですが、若者が好きな例として、久喜市や羽生市にはスターバックスが数軒あるにもかかわらず、加須市はゼロということで、スターバックスを誘致しようという意見がありました。</p> <p>また、中高生にもこのような貴重な議場に入ってもらい意見交換をするという場です。加須市では、青少年未来議会を実施しているようですが、その機会を増やしてはどうかという意見がありました。</p> <p>また、加須市では女子野球とクライミングが有名ですが、サッカーやバスケットボールもすごく盛り上がっているので、そちらにも力を注いでみてはという意見も多く出されました。</p>

6

続いて、子育て支援の強化として、3つの課題に対して議論しました。

1つ目は、SNSの活用です。現在、加須市ではLINE、Instagram、X（旧ツイッター）などを利用しているが、本当に若者に届いているのか課題となっています。

2つ目は、ワークライフバランスが整っていない。具体的には、仕事と生活を充実できていないことが課題となっています。

3つ目は、未婚率の上昇が年々大きくなっていることです。加須市では、45歳以下の男女に対し婚活支援があります。それに加えて、結婚して加須市で暮らすことへの魅力をもっと伝えられたらいいなと思っています。

全体を通して、加須市はいろいろな政策を行っているのですが、それらの政策が若者に届いていないことが問題であり、発信力が大きな課題となっていると思います。